



日時：2022 年 9 月 29 日（木）19:00～20:30

会場：zoom による web 会議

出席理事：赤木 禎治、石津 智子、稲井 慶、池田 智明、市川 肇、伊藤 浩、今井 靖、上村 秀樹、榎本 淳子、大内 秀雄、落合 亮太、笠原 真悟、齋木 佳克、坂田 泰史、庄田 守男、立野 滋、照井 克生、中埜 信太郎、籾 義仁、檜垣 高史、平松 健司、三浦 大、水野 芳子、宮崎 文、八尾 厚史、山岸 敬幸、吉松 淳（以上 27 名）

欠席理事：新川 武史、筒井 裕之、辻田 賢一、三谷 義英、塩瀬 明、平田 康隆、長坂 安子、先崎 秀明、小川 正樹、（以上 9 名）

監事：森 善樹（以上 1 名） 欠席 松尾 浩三

顧問：市田 露子、丹羽 公一郎、松田 暉（以上 3 名）

1. 開会 \*zoom による web 会議（事務局による出席確認：画面 ON で確認）

理事会の決議は、議決に加わることができる理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2. 報告事項

報告事項 1：前回議事録報告（担当：赤木理事）

報告事項 2：各委員会委員長より報告（各委員長）

・将来構想委員会（赤木理事）

・学術委員会（稲井理事） 6/1 委員会を開催

研究部会（檜垣理事） 新たな申請なし

教育部会（大内理事・セミナー石津理事・山村先生）11/19 セミナー準備中

YIA 選考部会（八尾理事）5つの論文の応募あり

審査結果 最優秀 小永井先生 優秀 鈴木先生

学術企画部会（大内理事）心臓移植をテーマに決定

大内理事の提案より、ACHD 学術集会のシンポジウム以外でも、他の学会とのジョイントセッションの企画も積極的に行っていく。

成人先天性心疾患診療ガイドライン改定（案）について（山岸理事）

日循 2023 年改定予定 諸事情で山岸理事が班長となる見込み

・学会編集委員会（椎名）赤木理事より報告

論文の投稿が少ない。すでに出ているものや、丹羽先生・赤木先生の心臓病学会での講演を文字起こしして学会誌に掲載する。24 回学術集会

のあとには、その中から論文を出してもらえるのではと考える。

- ・ 専門医制度委員会（石津理事） 審議事項で討議  
試験問題作成部会（稲井理事） 来年度試験に向けて準備状況 11/13 スタート  
専門医認定部会（立野理事）  
理事長より新規専門医 31名の表彰を学術集会で行う提案あり準備中  
修練施設部会（八尾理事） 審議事項で討議
  
- ・ 移行医療・専門医制度普及委員会（三谷理事（欠席）・坂田理事）  
第1回移行医療、専門医制度普及委員会報告  
日循より下記が公表された
  - 1 先天性心疾患の成人への移行医療の提言(第3版)
  - 2 先天性心疾患の移行医療支援についての提案(第2版)  
JSACHDの課題:脳卒中・心臓病等総合支援センター  
地域の支援:分野別(ACHD領域で)
  - 1 アウトカム パラメーターの決定(ロジックモデルでの分野別モデル)
  - 2 相談支援の患者のニーズの解明(多職種連携)
  - 3 普及啓発のモデル構築(地域全体。均霑(てん)化:空白県をなくす)以上の課題について、ACHD診療関連8学会の主要学会として関わる  
三浦理事・檜垣理事:移行期医療センターについて7つのセンターで意見交換をしている。北海道と兵庫も加わる予定
  
- ・ 倫理委員会（宮崎理事） 報告なし
  
- ・ 保険委員会（三浦理事・辻田理事） 内保連加盟が当学会の加盟を承認その後に活動開始
  - 1) 成人先天性心疾患の外来診療加算
  - 2) 指定難病を申請し医療費助成の恩恵を調査し啓蒙する、難病外来指導料も得ることができる中埜理事ほか:内保連では数回トライしないと新たな外来加算は難しい 外来診療加算は現行の指定難病で可能、費用面で患者・病院ともにメリットがある
  
- ・ 移植委員会（市川理事） 学術集会における移植問題について取り上げ（檜垣理事）  
コロナが収まりつつあるせいか、ドナーが増えている（特に小児例）  
笠原理事 心停止ドナー等、移植医療全体の中で動きも進んでいる
  
- ・ 渉外委員会（赤木理事）（委員長 杜徳尚）  
国内および海外の情報を収集し The ACHD Times の発行状況。  
ACHD NIGHT の開催状況。

赤木理事 以前と同様に、今回から韓国の先生を招待することを再開したい  
APSACHD symposium を台湾で準備中  
ACHD night でも Asia-Pacific での開催も行った。

・広報交流委員会(立野理事) Web page リニューアル終了、福田旭伸委員長を中心として4月より赤木理事長の発案により、ACHD TIMES の配信を開始。広告収入で運営されている。各理事からの投稿を継続する。

・財務委員会(立野理事) 特になし  
・多職種専門職委員会(水野理事) 学術集会でのセッション準備中 セミナーではエコー技師が発表するセッションを多く計画した

#### <関連委員会>

- ・日本循環器学会学術委員会、先天性心疾患成人先天性心疾患部会（山岸理事）  
ガイドラインについて 前述  
2023/2/25 日循 関東甲信越でACHDセッションが開催予定
- ・成人先天性心疾患対策委員会：循環器内科ネットワーク(八尾理事)  
ネットワークデータを元にした論文発表（資料）  
今後はエビデンスの公表を目指して準備中 PLE PH 等

#### 報告事項3：

- ・第24回日本成人先天性心疾患学会学術集会について（檜垣理事）  
多くの演題があり準備中 1/12 16時 理事会 17時 評議委員会  
1/13 18時 50回 ACHD night と懇親会 1/14 会期中の市民公開講座  
1/15 15時頃終了予定
- ・第25回日本成人先天性心疾患学会学術集会について（上村理事）  
資金を心配しながら準備中  
循環器内科医が会長でない場合の協賛セミナー確保は難しく、余裕を持って準備する必要がある。循環器内科の先生のご協力も検討（副会長などに循環器内科の理事に就任していただくことも検討）

#### 審議事項

1. 専門医制度の施設申請に関する解説、手引きの作成（石津理事）
2. 総合修練施設、関連修練施設認定の作業について（八尾理事）  
現行の規定はACHD専門医認定前のものなので、正式な専門医制度開始後となったため見直す必要がある

申請書類作成中

更新施設はスタッフの確認のみ 新規は以前と同様 部会で認定済

暫定専門医に関する事項を削除、総合修練施設をわかりやすく図で示した  
成人先天性心疾患専門医がいない施設や、小児循環器専門医がいない施設について討議  
された。>>時間の関係から今後メールでの審議となった。

### 3. 日本循環器学会将来構想委員会における本学会の役割について（坂田理事）

循環器病対策推進基本計画を実行するための循環器病総合支援センターのモデル事業  
の説明、ACHD 専門医との関わり、空白地域の問題について問題提起  
日本循環器専門医制度における小児科医の立ち位置（辻田理事(欠席)）

坂田理事 伊藤理事 山岸理事 笠原理事

1) 日本循環器連合は 8 学会で構成されている。最初の 5 年は現行で行  
う予定で、あと 1 - 2 年後に組織改編予定。その際に当学会もぜひ参加  
すべきと考える

現在は、仕事の分担、特に教育について討議中で。学会の教育プログラ  
ム 専門医の単位取得の工夫などを検討している。

2) 循環器専門医について、専門医機構より、循環器内科専門医は内科  
医のみとされているので、現在検討中。基礎となる小児科医、心臓外科  
医との話し合いが行われている。循環器専門医の減少も課題となってい  
る。小児循環器専門医は、他の小児系 4 専門領域とともにサブスペシャ  
リティ専門医としての機構認定を進めている。

### 3. 次回理事会日程について

会計報告が必要であるため 12 月 15 日を予定とする。

### 4. 閉会